

徒らに變な生活をして新しがるといふ人はいざ不知健全な立派な日本の女らしい女子が欲しいと思ひます、唯玩具になる爲に生れて來たと思つて居る様な考は、影さへも早く消えて欲しいと思ひます、もつと適當な所に卑下し、もつと健實に目覺めて働きたいと思ひます、無暗に新しがつて突飛な眞似をする事も、賤婦の眞似も、男に赤い帶をしめさせた様な者になる事も、共に避くべき事と思ひます、どんな海外へ行つて居る者でも、賤しい者でも、すべてが日本の女と云はれた時、立派な婦人といふ事を連想させる事の出来る程の者でありたいと思ひます。

一體私共は何れ丈大切な時間といふものを損して居る事でせう、愚圖々々して居る間にどん／＼惡魔に取り去られて行つてしまつて、もつと、遊ぶ時には遊び、爲る時には専心に爲て、社會の爲を圖つてゆく方が好い遣り方だと思ひます。

私共が本當に失望し切つてしまつた時に、もう何方を向いても何所にも助け手がなく、又避け場も見えなくなつてしまつた時に、そしてどんな静かな所へ行つても足がよろ／＼して居る時に、それを落着

居る川の様だ。

「是れは私に解らない事はないのだ、私には屹度分るのだ」と云ふ確信を以て物に當つた時と、「どうか知らん大變六ヶしさうだから」といふ心で御目にかゝる時とは、同じ本を讀むにしても、これ丈の懸隔が有る事でせう、又私共は能く「あれもした、これも見た」といふ人のあるのを聞きます、こういう時に私達は先づ第一に自分から見限りをつけて貴い手を引込めるといふ様な事はその仕事が無駄な物でない限り決して致しません。

「一體何の爲にこんなに勉強して居るんでせう」この聲はよく聞きます、こんなに痛切な言葉があるでせうか、こんなにすべての事を赤裸々に云ひ表はしている文字があるでせうか、こんなにすべての人に向つて努力を促している言葉があるでせうか、こゝがつきとめ所です、私達の使命は決して決して一にして盡きません決して、進みませう、勇ましく、充實した力を以て、何時までも、何處までも。

Nothing to do の境地は眞に涅槃でありベルグソンの所謂サイレンスの域で、大になすある所以の物

けて再び元の生活に踏み返させ、更に立派な道を辿らせて呉れる物は、眞に理解した親切許りではないでせうか、若し人が、自分が苦痛に呻いて居る事を知らない時でも、少しでも心からの親切を盡して呉れた時に、その時に、痛み果てた心は再び生命を得て働き出すのではありますまいか、私共は生徒に向つた時にこういふ様な心で接したいと思ひます、自分の名譽、自分の地位などの爲に生徒の一人や二人は犠牲にするなんて恐ろしい心を持つ人はありませんでせう、色々な思想、色々な誘ひが押し寄せて來る間に浪に漂はされたあはれな雛菊は、知りきつた説話や、學説を聞かされ、ば聞かされる程、花片は散つて、香はうせて、枝は折られて、只、世の中の人のつれなさ許りを感じ、自分を強くし、自分を善くするより外に生命を維持してゆくのに道はない、と小さな心に思ひ込んでしまふでせう、そして其の氣の毒な心は次第に荒んで行つて、段々一人となつてしまつて、遂には本當の人のなさけに對しても固く心の所を閉め切り、あるものは生涯明ける事をしてないでせう、地の下から地の下を無茶苦茶に流れて

は實にこのに發する物であると思ひます。

In the world broad field of battle

In the binouae of Libe,

Be not like dumb, driven cattle!

Be a hero in the strife!

Trust no Future, home'er pleasant!

Let the dead Past bury its dead!

Act, act in the living Present!

Heart within, and God o'erhead!

(ロングフエロー、サム、チフ ライフの一節)

◎夏が來た 尋 三

夏が來た、僕の嫌ひの様な好きの様な夏が來た、來たも來たもお七夕になつてしまつた。所々の家の窓の障子ははづされてすだわがかゝつて居る、そのわきに蟲かこがつるさされて居る、菓子屋いも屋の類はたいい變つて赤くへり取られた中に「水」と書いてある旗が出た、方々の家ではしるぶふうりんを店先に出してある、扇風器の音も所々に聞える、あゝ、夏が來た、夏が來た。